

大豆技術情報 第2号

平成30年6月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

実需者ニーズに対応した高品質大豆生産に向けて

- 「**確実な培土**」と「**溝の連結**」で、初期生育の確保を！
- 培土後、発生している雑草の種類を確認し、除草剤を適切に使用しましょう。

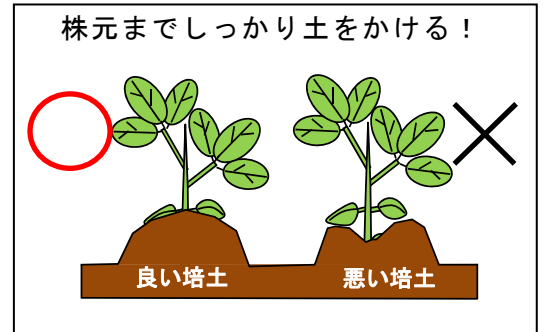
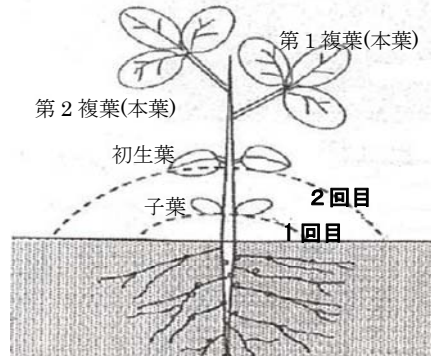
培土

1回目培土時の大豆（本葉2葉期）

1回目は遅れずに、2回目は晴れ間を逃さず確実に実施しましょう。

表1 培土の時期と高さ（右図参照）

	時期	高さ
1回目	本葉2~3葉期 (播種後20~25日頃)	子葉が埋まる程度
2回目	本葉4~5葉期 (播種後30~35日頃)	初生葉が埋まる程度



【培土作業のポイント】

- ◆作業の前に培土板の調節や耕うん爪を点検し、すり減った爪は交換しましょう。
- ◆乾いたほ場から作業を行い、株元までしっかり土を寄せましょう。
- ◆培土でできた溝は額縁排水溝や排水口にしっかり連結しましょう。



雑草防除

雑草の種類を確認し、雑草に薬剤が十分かかるように散布しましょう。※周辺の作物に飛散しないよう注意！

表2 草種別除草剤

対象雑草名	薬剤名	使用時期	使用方法	10a当たり散布量	使用回数
1年生イネ科雑草 (スズメカサビラを除く)	ポルトフロアブル	イネ科雑草3~10葉期 (収穫30日前まで)	雑草茎葉散布	薬量200~300ml (水100ℓで希釈)	1回
1年生広葉雑草 (イネ科を除く)	大豆バサグラン液剤	大豆2葉期~開花前 (雑草6葉期・収穫45日前まで)	雑草茎葉散布	薬量100~150ml (水100ℓで希釈)	1回
		大豆の生育期 (雑草6葉期・収穫45日前まで)	畦間雑草茎葉散布	薬量300~500ml (水100ℓで希釈)	

難防除雑草（帰化雑草等）の防除について

ほ場周辺（畦畔、農道等）で難防除雑草（帰化雑草等）の発生がみられる地域では、種子を作らせないように開花・結実前に防除（手取り、除草剤散布）しましょう。

ほ場内で発生がみられる場合、雑草の種類に応じて効果の高い体系防除を実施しましょう。

(1) 帰化アサガオ類の防除体系

大豆	播種	2葉期	4葉期	5葉期
生育	6/1(0)	6/20(+19)	7/14(+30)	7/6(+35)
ステージ	▼	▼	▼	▼
防除作業	サターンバアロ等 (0)	大豆バサグラン 1回目培土 (+19~+23)	2回目培土 (+20~+25)	バスタ (+29~+34)

マルバルコウ



イヌビユ



イヌホオズキ



(2) ヒユ類、イヌホオズキ類の防除体系

大豆	播種	2葉期	3葉期	4葉期	5葉期
生育	6/1(0)	6/20(+19)	6/25(+24)	7/1(+30)	7/6(+35)
ステージ	▼	▼	▼	▼	▼
防除作業	ラクサー、エコトップ等 (0)	1回目培土 (+19~+25)	ロロックス (+20~+25)	2回目培土 (+29~+34)	バスタ (+29~+34)